

Aゾーン 完成堤防の紹介



平成27年3月2日(月)
第8回 阿武隈川本宮左岸地区まちづくり懇談会
現地視察資料



着工前



完成

新しい堤防は約1.5m高くなり、幅も3mから6mに広がりました



歩道は緑色、階段部分の車道には注意喚起のため赤色で着色しました



街路灯をつけました



ベンチです



ベンチです

川と親しむため階段を2箇所つけました

『東町裏排水ポンプ場』の紹介

阿武隈川の築堤事業（Aゾーン）に合せ整備を進めておりました『東町裏排水ポンプ場』が完成いたしました。

阿武隈川の洪水時には、付近地域の約6.7ヘクタール（字東町、東町裏、大町地内）に降る雨水を3台の水中ポンプで強制排水します。

■ポンプ仕様

- ・ 水中ポンプ：3台（口径200mm、250mm、300mm が各1台）
- ・ 排水能力：毎分最大24m³（過去の洪水時の排水実績の約2倍）
- ・ 動力：電力（東北電力より受電）

■運転方法

- ・ 大雨等により阿武隈川の水位が上昇し、宅地側へ河川水の逆流が予想されると、樋管ゲートが閉じられます。
- ・ 宅地側の雨水は、専用の連絡水路（縦横1mの水路）を通り東町裏排水ポンプ場のポンプピットに導かれます。
- ・ 雨量に応じて、台数制御によるポンプ運転を行い、専用排水管（堤防乗り越しタイプ）により阿武隈川へ強制排水いたします。
- ・ 排水ポンプは自動運転ではありますが、運転が予想される場合は、事前に操作員を現地に配置し、ポンプ運転の準備と周辺の安全確認を行います。
- ・ 阿武隈川の水位が下がり、樋管ゲートが開けられ自然排水が可能となると、ポンプ運転を停止し排水作業が終了となります。

